



希望を植える、  
5本の植木。



前都議会議員

植木こうじ

5つの実績・5つの公約

あなたので、再び都政へ

日本共産党

ご意見・ご感想をお気軽に ☎070-6488-8119 FAX3228-1055

中野の広場

2013年5・6月号外 中野の広場社（中野区野方 1-17-4）

日本共産党と植木こうじ前都議の実績・政策を紹介します。

# ☀️ 1 バリアフリーの植木。

障がいのある・なしにかかわらず、「ともにつくる人間のまち中野」という理念にもとづいて障がい者と街を何度も調査し、一つひとつ問題箇所を改善してきました。こうした努力が都の「福祉のまちづくり条例」や地下鉄の「ホームドア」に実りました。



**ノンステップ  
(低床)バス**  
障がい者と  
力あわせ

だれもが自由に行き来できるまちは、努力なしにはできない——リュウマチがひどくバスの乗り降りが大変という女性から植木さんが教えられたことです。

植木さんは、いっしょに「段差のないバスを」と署名をつくり、広げていきました。他の障がい者団体もとりくんでい

たこともあり、実現したときは、みんな喜び合いました。

植木さんは、都議会でさらに「民間バスにも広げよ」と迫り、今ではノンステップバスは「当たり前」になりました。



いまでは民間でも当たり前

## 西武線 踏切の渋滞解消へ前進

西武新宿線の踏切渋滞は最悪のバリア（障壁）です。植木さんは、「通学・通勤時の渋滞をなんとかして」という声にこたえ、21年前から「開かずの踏切」問題にとりくみ、調

査をもとに住民団体といっしょに西武本社・都・国に足を運んで交渉してきました。それがみより、中井〜野方駅間の地下化の具体化が始まっています。へ

# お年寄りも、障がい者も、だれもが住みよいまちに

## 野方〜高円寺 バス路線復活

バス路線の廃止は高齢者の生活にとっては死活問題です。野方・高円寺間の路線が廃止されたとき、町会や商店会のとりくみを応援して、植木さんは党区議とともに関東バスに復活を交渉。努力が実り、路線が復活しました。

## 住民と力あわせ 「なかのん」走る



住民とともに「なかのん」実現にも奮闘。運行縮小をやめさせるよう交渉しています。

だから願います



特養ホームを区内に当面500床ふやします

現在、西武線の線路をのカーブを変更したために立ち退きを求められている新井薬師駅前周辺の地権者のみなさんと西武・都と交渉をつづけています。

## 野方〜井荻駅間の 地下化とホームドア 設置を交渉しています

植木さんは野方〜井荻駅間の地下化促進と各駅にホームドアを設置するよう交渉しています。

## 特別養護 老人ホーム

特別養護老人（特養）ホームに入れない人は中野区で1200人も。党区議団のアンケート（1186人）でも区民要望の二番目です。

## 都に増設を要望 区議とむすび実現

住民の願いにもとづき、「南部地域に特養を」という署名運動を展開。植木さんも党区議団とともに奮闘しました。その結果、富士見中跡地に実現することになりました。

西武との交渉



## がんばる植木さん

植木さんはいつも西武との交渉で、住民の気持ちを代弁してくれました。野方〜井荻間の地下化のため力をかけて欲しい。

(西武新宿線利用者の会・菊池惇さん)

# 都や他党が背をむける施策 ねばりづよく追い求める

## 子どもの植木。

都や他党が認可保育園をふやすことに背をむけるなかで、植木さんはねばりづよく認可園増設を求め、安上がり・無責任な保育行政をただしてきました。



認証保育ハッピースマイル（写真上）が突然閉園し、子ども・保育士が放り出された事件で、都にかけあう植木都議（当時・右写真）。

### ハッピースマイル とつぜん閉園

東京都は認可保育園の増設をおさえてきました。そうした中、エムケイグループの認証保育所「ハッピースマイル東中野駅前園」が開設2カ月でとつぜん閉園。父母から相談があり、まっさきに駆けつけたのが植木さんでした。区議としてしよに利用者や職員の相談に親身になり、保育がつづけられるよう、都や区とかけあいました。

### ●虚偽申請つきとめる

植木さんは、なぜこんな事態となったかを徹底調査。エムケイグループによる

### まっさきに現場へとび 都や区とかけあい 親・職員の相談に対応

虚偽申請の事実をつきとめ、認証取り消し処分を道をつらしました。

### ●認証の改善を実現

このときの植木さんの申し入れや文書質問が都を動かし、その後、認証保育の経営・財務の審査がきびしくなりました。また、植木さんは共産党都議団を代表して談話を出し、待機児童の解消は認可園の増設を基本にすすめるよう要求。のちに認可園の増設につながりました。

### 医者ぞだてる 奨学金

医師不足で中野区から365日24時間対応の小児科2次救急をする病院がなくなったとき、植木さんは、区医師会の意見もきき、事態の打開に全力をあげました。植木さんは2007年に文書質

### 小児科など医者が たりない事態をうけ

問で、医師不足打開へ、医師育成の奨学金をつくるよう提案。この提案が都を動かし、2008年、医師不足対策として医学生の奨学金制度が実現しました。

### 子ども医療費

### 無料化を 前にすすめる



植木さんは、都議として、子どもの医療費助成がうけられる年齢を引き上げるよう質問しました。これをきっかけにして、その後も追求し、5歳未満、そして就学前に年齢を広げていきました。



### 「認可保育園ふやして」の請願 つぶした自民・公明・民主

自民・公明・民主は、認証保育所一本やりで認可園増設にブレーキをかけてきた石原知事（現・維新代表）に追随。都民の請願に反対しつづけてきました。みんなの党は「企業にまかせよ」と、公的保育の縮小を主張しています。

だから願  
いたくせす



認可保育園500人分を区内にふやします

# 防災の植木。

水害と木造密集……中野の災害対策でがんばってきたのが植木さんです。



## 水害

### 下水道和田弥生幹線 環7地下に調節池

植木さんの都議会初質問は1989年の神田川の水害対策でした。

植木さんは水害時に、区議といっしょになって救援活動の先頭に立つとともに、国会議員や区議と神田川を歩いて調査。水害がどこでおきたか、また調節池の設置ポイントはどこがふさわしいかを調べ、提案してきました。



排水ポンプを手配して  
救援活動（2004年）

植木さんは、環7地下の調節池、雨水抑制装置、本郷通りに下水道幹線の整備をせまりました。また、植木さんの質問で、下水道和田・弥生幹線をつくる計画を答弁し、

2007年に完成。神田川調節池の取水口の土地確保に道をひらき、水害をくいとめてきました。

## 防災公園

### 削減おしもどす

### 都営住宅 耐震すすむ

はじめの計画では4ヶ所だった区役所西側の防災公園。ところが、現区長は1ヶ所にけずり、高層ビル誘致をすすめようとしています。

植木さんは、党区議団や区民の運動とむすび、これをおしもどし、2ヶ所まで回復させました。

植木さんは、地域の人たちの避難場所にもなる都営住宅で、耐震診断や補強がすすんでいない問題を追及。

これがきっかけとなり、いまでは耐震化を100%完了させる計画ができました。

だから願いたくせす



住宅の耐震助成を手あつくします



私が都議になったばかりのころは、驚くことの連続でした。料亭での飲み食いなどに、議員が平気で公費(税金)を使っていたのです。私はそれを一つひとつただし、改善させてきました。

# 4 ムダなくす植木。

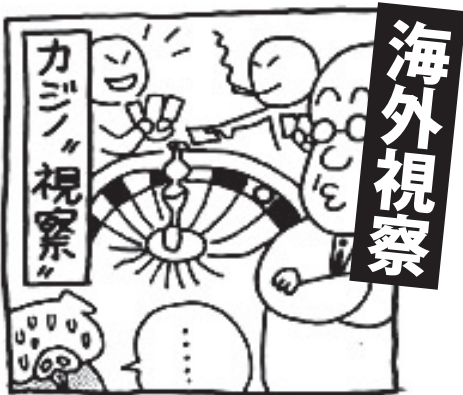
都議会議員らの税金での飲み食いなど、目にあまるムダづかいを一つひとつ改善させてきました。



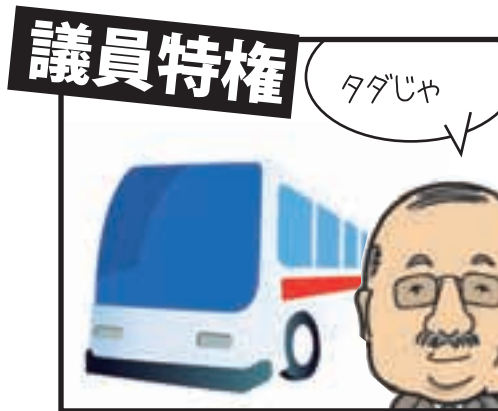
黒塗りのハイヤーは使い放題でした。新年会まわりなど、私用に使う議員もいました。もちろん税金です。都議会改革検討委員会で指摘し、その後「公務以外に乗らない」ことになりました。(当たり前ですよ)



議会の始まる前、終わった後に、「懇談会」と称して税金で多数の議員が料亭に。これも税金です。私たちは料亭に入る姿を写真にとり、新聞(赤旗)で暴露。その後、なくなりました。



チェコスロバキアに酸性雨の「視察」と言いながら、行ったのは古城めぐり。途中で車窓から枯れた木を見ただけでした。こんな観光まがいの実態を私はマスコミに告発し、廃止を要求(共産党はその後不参加)。報告書提出義務化など一定の改善がありました。



都議会議員は地下鉄やバスの無料パスがわたされていました。政務調査以外に使われたか不明であり、植木さんと共産党は、都議会改革検討委員会で、やめるよう提案。その後、返上されました。

だから願いたくせす



税金のムダづかいを厳しくチェック

# 環境の植木。

大気汚染、温暖化ガス、原発……私たちがとりまく環境といのちの危機に、植木こうじさんは立ち向かってきました。



## 原発ゼロの共同

官邸前の原発ゼロ行動や放射線測定運動に積極的に参加。5月には400名近く参加した「脱原発中野も」主催の「母の日」パレードに参加し、あいさつするなど、立場のちがいをこえて「原発ゼロ」「自然エネルギーへの転換」など共同を呼びかけてきました。都議会では太陽光、風力など再生可能エネルギー導入を求め、太陽光パネル設置助成を実現しました。

## 山手通りのひどい排ガス 脱硝装置つけさせる

山手通りは、ぜんそく患者の割合が多く、大気汚染は深刻な問題でした。

山手通りの地下高速道路計画は、当初、自動車排気ガスをそのまま「煙突」から輩出するのになっていました。

### ●実験施設など調査

植木さんと区議団は、環境対策として自動車排ガスから、窒素酸化物などをとりのぞく「脱硝装置」をつけるよう提案。実験施設などを調査し、東京都や道路公団と交渉し、実現しました。

## 大きなビルが出す温暖化ガス おさえるしくみでできる

植木さんは、都議会で開発一辺倒の「都市再生」の問題点を厳しく指摘し、大きな事業所ビルが出す二酸化炭素（温暖化ガス）排出の削減を義務づける制

度を都につくらせました。議会で対決してきた都職員から「植木議員の指摘で環境対策をすすめました」と声が寄せられました。

だから願いたくせす



## 原発ゼロ、放射能から子どもを守る

### 植木こうじプロフィール

1944年、群馬県高崎市生まれ●高崎高校卒、千葉大学工学部卒●日本電波工業株式会社・電子機器部につとめたのち、党職員に●都議4期（1989～2009年）、衛生労働経済委員長、文教委員長、議会運営委員、党都議団副幹事長など歴任●「革新都政をつくる中野の会」代表世話人、党中野地区委員会副委員長●趣味は写真。



子ども時代。実家は高崎で金物屋・呉服屋でした